

発行
麻生まちづくり協議会
大門 隆司



麻生総合センター(北39西5)
麻生まちづくりセンター TEL757・5810
麻生地区会館
麻生児童会館 TEL757・0185
北老人福祉センター TEL757・1000

麻生地区「春の交通安全市民総ぐるみ運動」街頭啓発は4月11日17時30分から麻生五差路にて実施し写真下II。麻生連立台町内会田



春の交通安全
北24条交差点と五差路で合同街頭啓発

中蔵会長、麻生地区防犯協会(山口博之会長)、交通安全実践会(交通安全母の会から28人が参加しました。夕刻からやや肌寒く感じましたが、蛍光シヤンパーを着用しタスキをかけた参加者は、帰路を急ぐ人々や車両に「スピードダウン」

や「シートベルト着用」などの旗を掲げて交通安全を訴えました。歩行者や車両は啓発に応え、安全を心掛けた。文と写真・麻生まちづくりセンター事務局

麻生児童会館の一輪車の技「メリーゴーラウンド」



最初に、あさぶ太鼓が3曲を演奏。メンバーになつて日の浅い子もおり、緊張も見られることから、長尾会長は「たとえ

あさぶ太鼓(長尾恒代表)は3月23日、麻生児童会館体育室にて、地域の児童会館と交流会(合同発表会)を開催。麻生(廣田昌哉館長)をはじめ和光小ミニ(伊藤由美子館長)、新琴似小ミニ(山田正館長)の子どもたちが一堂に会し、日頃の遊びや得意技を披露しました。

交流会は22年11月に初めて開催。コロナ禍で活動が制限され、子どもたちも日々の成果を発表する場がなくなつてきたことから、長尾会長と廣田館長が企画したものです。2回目となる今回は「お互いの活動を知り、理解する機会に」と和光小ミニも参加、約100人が「集結」しました。

麻生交通安全母の会(宇佐美京子会長)は4月1日、和光小学校を訪れ、今年度の新一年生72人(昨年度68人)に、北区まちづくりキヤラクター「ぼっぴい」の夜光反射材を贈呈しました。児童たちが交

新一年生に夜光反射材贈呈



池崎幸教頭(左)に贈呈する宇佐美会長(中央)と中永恵美子副会長



振り付けや掛け声も楽しいあさぶ太鼓の演奏

間違つても恥ずかしくないからね」と、会場の子どもたちにも温かく声掛け。元氣よく、笑顔で発表することを勧めました。

和光小ミニは縄飛びやフラフープ、体操など、普段の遊びを紹介。新琴似小ミニは、総勢30人ほどの「ドリムチアダンサーズ」による華麗なダンスやけん玉を披露しました。

元気に過ごしてくれことを願います。また4月9・12日・15日には、和光小と新琴似小付近の9カ所で、新入学児童の登校時の交通安全指導を実施しました。(文・宇佐美京子会長、写真・佐藤たよ子総務)

▽北区長 佐藤伸二(さとう しんじ)
前職 監査事務局次長
▽前北区長 佐々木美香子 異動先 人事委員会事務局次長
▽麻生まちづくり協議会事務局次長(麻生まちづくりセンター次長) 青木裕司(あおき ゆうじ) 65歳
札幌市総務局行政部公文書館運営管理係長
退職。令和6年、札幌市教育委員会中央図書館運営企画課新琴似図書館(再任用)退職。
▽退職(同事務局次長・センター次長) 信太正和

町内会総会
市営住宅自治会
(3月31日集会所)
中永恵美子会長あいさつに続き、令和5年度活動・決算報告を承認、同6年度活動計画と予算を決定。役員改選では、中永会長の再任を含む各役員を選出しました。

最後には、会場の皆で太鼓たたきを体験。子どもたちはもちろん、各児童会館の職員や保護者などの大人も参加して、長尾会長が「いい音!」と絶賛する快音を会場内に響かせていました。

米穀・酒類小売・業務用販売

アサブ百穀

お届けします。お電話の注文お気軽にどうぞ

クワハラ食糧株式会社

本社/〒001-0045 札幌市北区麻生町7丁目
TEL (代表)011(717)6688
工場/〒004-0005 札幌市厚別区厚別東5条2丁目

〇乳がん検診実施機関 [日本乳癌学会認定施設]

医療法人社団 北つむぎ会
さっぽろ麻生乳腺甲状腺クリニック

院長 亀田 博

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	休
13:30~16:30	○	○	手術	○	○	休	休

※休診日/日曜日・年末年始・お盆 ※予約優先
〒001-0038 札幌市北区北38条西8丁目2-3
TEL (011)709-3700・FAX(011)709-3706

外来心臓リハビリに特化した分院

あさぶハート・心リハクリニック

本院/あさぶハート・内科クリニック
住所:〒001-0040 札幌市北区北40条西4丁目1番1号 ASABU LAND 1階
TEL:011-374-7667
院長 福島 新
副院長 福島 拓

分院/あさぶハート・心リハクリニック
住所:〒001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-12
TEL 011-792-0222
院長 津田 正哉

伝統と文化の街、新琴似の歴史を再発見しませんか? 入場無料

境内には、開村以来137年の色々な記念碑が建っています。これらもご覧下さい。

明治19年新琴似屯田兵村の本部として建てられ、翌年146名の屯田兵とその家族が入植、さらに翌年74人が加わり220名で第一大隊第三中隊が編制されました。明治36年屯田兵役解除後、兵村会の共有財産として引き継がれ新琴似の自治会、町内会、新琴似中学校の仮教室などに使用されるなど時代の変遷を経て、昭和40年札幌市に寄付。
昭和49年に歴史的に価値が高く建築構造の上からも貴重な建築物として札幌市有形文化財に指定されました。

札幌市指定有形文化財
新琴似屯田兵中隊本部
札幌市北区新琴似8条3丁目四番通 新琴似神社境内
●開館日/毎週火・木・土曜日(4/1~11/30)
●時間/午前10時~午後4時

展示コーナー
●新琴似発展の足跡を写真やパネルで紹介
●入植した人々の出身地紹介
●当時の農機具や生活用品の展示
●中隊長の部屋を再現

屯田兵の暮らしぶり(作業風景・訓練の様子)や家族の生活をジオラマで見ることができます。